

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 長谷川 美智代
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<https://city-osaka-ikuseikai.or.jp>
定価 10円



大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

全国障害者スポーツ大会が開催されました

理事長 長谷川 美智代

10月28日(土)から30日(月)の3日間、特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」が開催され、鹿児島県の7つの市で14の正式競技が行われました。本来は、令和2年に第20回大会を鹿児島県で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期となり、令和5年に名称に回数を付けない特別大会として開催することとなりました。鹿児島市の白波スタジアムで行われた開会式では、秋篠宮ご夫妻もご出席され、全国から集まった選手団が元気に入場行進。スタジアムの観客の温かい声援と拍手に出迎えられています。

【全国障害者スポーツ大会/大阪市選手団】



昨年の栃木大会は、コロナ禍での開催ということもあり、期間中は、毎日抗原検査をし、選手たちの行動範囲も限られていましたが、今大会では、選手の皆さんが食事中に談笑したり、連れ立って近くの温泉に行ったりすることもできたので、のびのびとした解放感があり、試合前の緊張をほぐしたり、次の試合に向けて英気を養うこともできたと思います。そして大会期間中はお天気も良く、日中は汗ばむ陽気でした。

先に行われた国民体育大会期間中には、桜島の噴火や爆発が相次ぎ、鹿児島市街にも火山灰が降り、競技にも影響が出たそうです。火山灰に備えて、各自でゴーグルやマスク、点眼薬を持参して対応することになっていましたが、降灰の心配もなく、昼は、青空に映える桜島の白煙、夜は満月がかかる桜島の幻想的な景色も見ることができ、選手の皆さんも携帯で撮影しながら、鹿児島の風景を満喫されている様子でした。

選手の皆さん、それぞれが持てる力を発揮し、競技に取り組む姿は感動的で、各競技場を回りながらの応援にも力が入りました。満足のいく結果が得られた人も悔しい思いをした人も、3日間の熱戦を終えた後は、晴れやかな表情で閉会式に参加し、大会旗は、鹿児島県から、来年開催地の佐賀県に引き継がれました。閉会式後には、シンガー・ソングライターユニット「C&K」のミニコンサートが行われ、音楽に合わせて選手たちが歌ったり踊ったり、肩を組んで円陣を組み掛け声をかけ合ったりと思い思いに心ゆくまで楽しんでいる姿が、とても印象的でした。会場が一体となって盛り上がったコンサートの後、各選手団が退場する際は、鹿児島の選手、役員がハイタッチをしたり、手を振ったりして見送っていました。

【男女聴覚バレーボールの部/優勝☆大阪市チーム】

